

TOPICS



イチ押しの工事現場を紹介するよ!

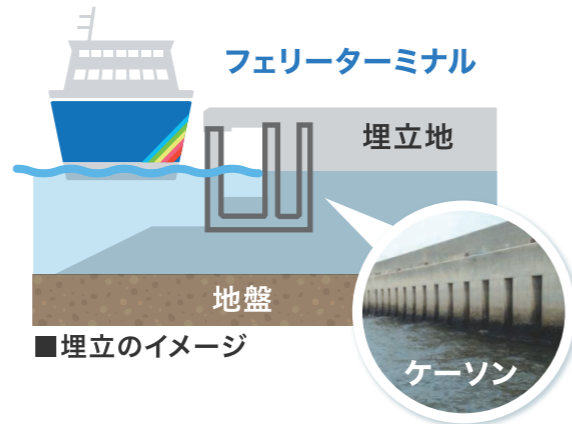


清水駅前フェリーターミナルが移転！ 開港に向けて、大型構造物をつくっています！



観光や交流振興の一翼を担う「駿河湾フェリー」が、駅前に移転！よりアクセスしやすくなり、清水駅前は海と陸の両方を一層楽しめる場所へと生まれ変わります。待合室や遊歩道、津波対策を兼ねた施設を埠頭に建設する検討も始めています。

まずは開港に向け、現場付近の埋立工事を進めています。



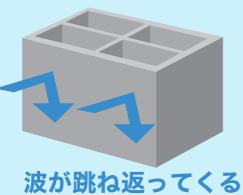
埋立地を作る為に、ケーソン(※)の製作が進んでいます

※ケーソン=鉄筋コンクリートでできた箱



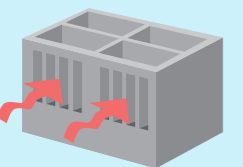
●安全・安心なフェリー乗り場を整備しています！●

通常



波が跳ね返ってくる

製作中



折戸にある工場では、ケーソンの製作が進んでいます。波止場の海に沈められるケーソンは、通常とは異なり、特殊な形をしています。穴の空いた形状は、フェリーにより発生する波の反射を抑え、近くに停泊している船への影響を少なくするよう工夫されています。

縦6m×横10m×深さ7.2mほどのケーソンを海に埋めることによって、頑丈な土台が出来上がり、安全と安心を守ってくれるターミナルになります。



初期



製作段階

清水の未来をみなさんと一緒に考えていきたい

本年9月の台風15号では、清水区を中心に大きな浸水被害が発生し、被害に遭われた方々に、こころよりお見舞いを申し上げます。

近年、まちづくりの議論が活発化し、様々な計画が具体化してきている一方、巨大地震発生への切迫性は増してきています。また2019年10月の台風19号による沿岸部一帯の高波・高潮被害も記憶に新しいところです。

このような中、「防潮堤整備はどうなっているのか?」という地域の方々のお声が

多数寄せられており、これまで行政として説明が十分ではなかったと認識しております。これから工事を進めるにあたり、「同じ情報」「同じタイミング」で「すべての方」にお届けすることで、少し先の未来と一緒に考えていただければとの思いから、今回冊子を発行することとしました。

今後も、設計や工事の内容などをお知らせしていく予定です。ご意見・ご要望をいただければ、さらに充実した情報をお届けできると思いますので、引き続きご理解ご協力をお願いします。



清水港管理局長 齋藤 昌昭

令和4年11月発行
静岡県清水港管理局企画整備課

〒424-0922
静岡県静岡市清水区日の出町9-25 清水マリンビル3F
【TEL】054-353-2203 【FAX】054-354-0380

冊子に関するアンケート

ご意見・ご感想を
お待ちしております
(QRコードよりご回答ください)



津波対策についての広報誌

清水港

みらいRe:Port

しみずこうみらいレポート vol.1



これからの清水港について案内をするよ

ぼくたちがレポートするね!



小学校4年生

小学校6年生

みなとくん なぎさちゃん



清水

清水港管理局の

清水さん

大きく変わる清水港のイマ

もしも東日本大震災のような大きな地震が起こったら、清水港周辺は大きな被害を受ける可能性があります。近い将来、やってくるかもしれない津波に備え、今、様々な工事が進められています。

どんな未来が見つかるか、現場をのぞいてみよう!



未来の清水港の姿を見てみよう

地震が起きたら、まず高台や津波避難ビルへ避難しましょう！
防潮堤を整備することで、より安全なまちづくりを進めていきます



整備エリア

津波避難施設



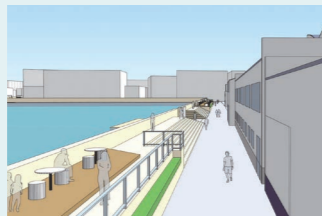
広い範囲で進化するね!

江尻港エリア

調査設計と埋立をスタート

河岸の市周辺の防潮堤は、水際線の一部を埋立て建設するため、昨年より測量、ボーリング調査を行うとともに、現在設計を進めています。

また今年秋より清水駅前埋立工事に先行して着手しており、完成後はフェリー発着場として利用します。



清水魚市場 河岸の市 前 完成イメージ

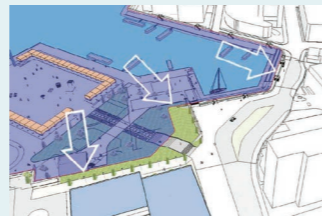
日の出エリア

防潮堤ルート見直し中

防潮堤工事がスタート

今年、日の出エリアの防潮堤工事がスタートしました。防潮堤は周囲との調和や景観への配慮を行い整備する計画であり、ますます魅力的なエリアに変わっていきます。

まずは、台風での浸水被害を防ぐためエスパルスドリームプラザ新館の周辺から工事がスタートします。



清水マリパーク 前 完成イメージ

対策に期待を寄せる地域の思い



清水地区連合自治会長 隅倉 正員 さん

3.11の東日本大震災があってから、街の人たちの意識は大きく変わりました。また9月の台風15号による豪雨では、至るところで川が氾濫し、甚大な浸水被害がもたらされ、未だ復興の途上にあります。

海と川に挟まれる清水では、津波や川の氾濫を懸念して若い世代が引越してしまい、世帯が半減した地域も

あります。また高齢者の方が家の中で怪我をしたり、逃げ遅れて家に取り残されたりと、災害が襲ってくる度に住民には不安がよぎります。

津波対策をすることによって、清水がもっと高齢者にも若い世代にも、安心に暮らせる街として、生まれ変わって欲しいと願っています。

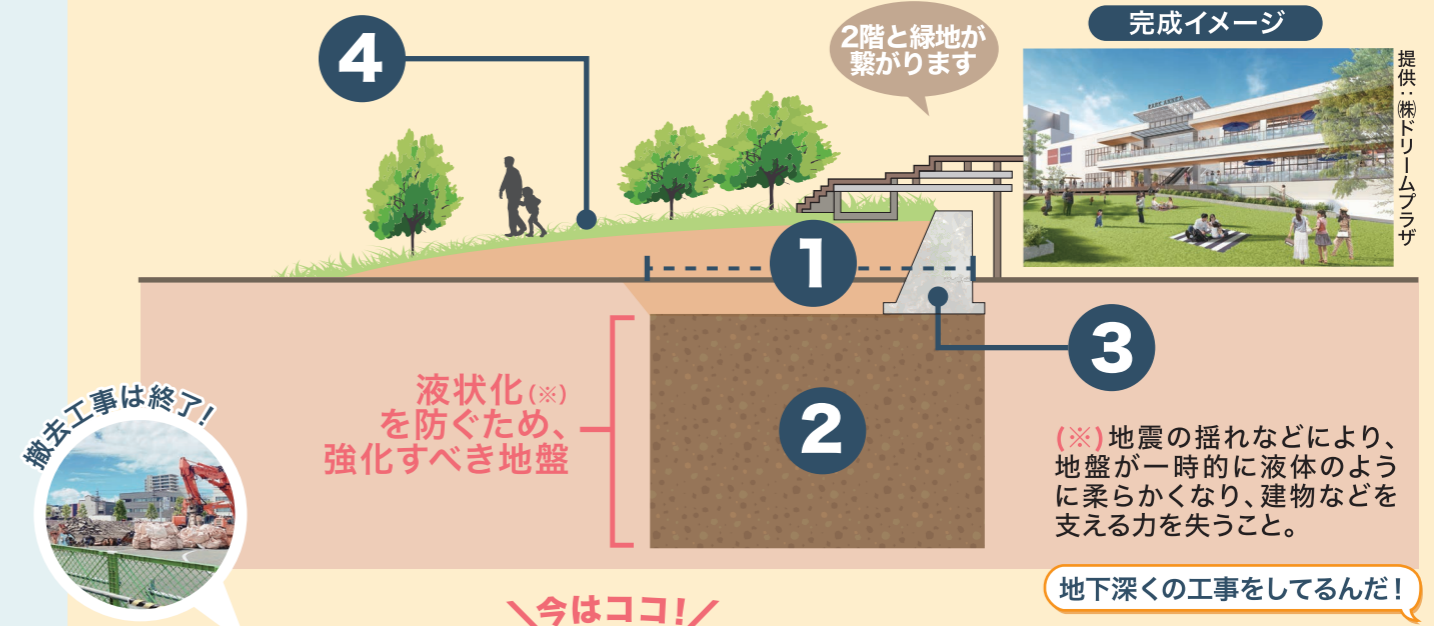
今どんな工事が進んでいるの？

地盤を強くするための工事や調査を進めています



日の出エリア

防潮堤工事(緑地帯整備)が始まりました



1 撤去工事

工事を始める前に、支障になる電気や水道など、地下にあるものの撤去・移設作業を行います。

2 地盤改良工事

地下13mまで、土にセメントを混ぜながら、より強い、液状化しない地盤へと改良します。

3 防潮堤工事

津波から街を守るため、コンクリートの擁壁を設置します。

4 緑地工事

防潮堤の海側に盛り土をし、芝生、遊歩道、植木に合わせ、商業施設へのアクセスもできるような計画しています。



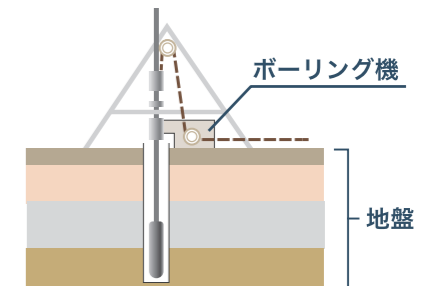
江尻港エリア

ボーリング調査が行われました

ボーリング調査とは、地質の状態を確認するための作業です。これによって、土の性質(硬さや物性値)、地下の地質(土質)の変化、地下水位の高さなどが分かります。

この結果を防潮堤の設計に反映させ、津波の前に発生する地震にも耐えられるよう対策を取っていきます。

もし、地震により液状化する地盤であることが判明した場合は、地盤改良をすることによって、防潮堤の機能を確保できるようにしています。



穴を掘って地盤の調査を行う

地盤の状態を調べるんだね!

